

ニイヤだより

毎度ご利用いただき誠にありがとうございます。

9月に入り暑さが和らいできたかと思っただけの間、またじめじめした暑い日が戻ってきました。
千葉県ではこの暑期中、台風の影響で停電が続いている地域もあります。被害に遭われた方の体調が心配になります。
被害に遭われた皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈りいたします。



今やろう! 災害への備え ②

今回は、地震発生の瞬間から避難まで、自分に置き換えて想像しながら読んでいただけたらと思います。

地震発生その瞬間

地震発生の瞬間は突然の揺れに、身体がこわばって頭が真っ白になり、適切な判断が難しくなるそうです。
あらかじめ家族と話し合ったり、防火防災訓練などに参加し、とるべき行動を想像しておくことが大切です。

- ①強い揺れを感じたら→最優先で自分の命を守る
- ②発災直後→揺れが収まってから行動する→火元を確認する→出口を確保する ※屋外にいる場合はガラスや塀から離れる

発生時のNG行動

- ①マッチの火をつけない。ガスに引火して爆発する危険があります。
- ②火災や爆発の危険があるので、ブレーカーを上げて通電させない。電気スイッチに触れない。
- ③閉じ込められる危険があるのでエレベーターは使わない。
- ④電話回線がパンクするので、発災直後に不要不急の電話の使用を控える。
- ⑤ケガをする危険があるので、部屋の中を裸足で歩かない。救出活動はひとりではなく複数で行う。
- ⑥緊急車両の通行の妨げになるので、避難に車は使わない。

避難のタイミング

避難の判断によっては生死が分かれる場合があります。避難するかしないかを人任せにせず、ラジオやテレビ、行政からの正しい情報を自分の耳と目で確かめて判断しましょう。自宅の安全が確認できている場合は在宅避難に努めましょう。家族が離れ離れになった時は、自宅に安否メモを残したり、電話会社が提供する災害用伝言サービスなどを活用して落ち合う場所などを確認しましょう。

避難の流れ ☆まず、現在地の被害状況(火災や避難指示など)を確認する

- ①火災の危険があり一時避難場所に行けない場合→避難場所に避難する→火災の危険がなくなったら→家に被害があるか確認する→被害があり生活できない場合は再び避難所に避難。被害がない場合は家に戻る(在宅避難)
- ②火災の危険や避難指示がある→一時集合場所へ向かう→火災の危険があり一時避難場所が危ない場合→避難場所に避難する→火災の危険がなくなったら→家に被害があるか確認する→被害がある場合避難所に避難する。被害がない場合は家に戻る(在宅避難)
- ③火災の危険や避難指示がある→一時集合場所へ向かう→火災の危険がなく一時避難場所が安全な場合→一時避難場所で待機する→火災の危険がなくなったら→家に被害があるか確認する→被害がある場合避難所に避難する。ない場合は家に戻る(在宅避難)
- ④危険がない場合→家に被害があるか確認する→被害がある場合避難所に避難する。ない場合は家に戻り在宅避難とする。 ※避難方法はお住まいの市町村によって違います。お住まいの市町村にお問合わせください。

参考資料東京防災他

住まいのお悩みご相談ください。

LPガス・灯油・給湯器・風呂釜・浄水器・水・太陽光・太陽熱
キッチン・トイレ・浴室、水回りの設備 お家のリフォームなど

Niia 株式会社 ニイヤ TEL 042-762-0320

★ホームページもご覧ください★
<http://www.smile-niia.co.jp/>
または、「住まいのニイヤ」で検索ください。
準備中のページも順次開設していきますので
よろしくお願ひ致します。



かぼちゃのチーズケーキ



材料
(直径21cmの丸型1個分)

かぼちゃ(正味)	150g
クリームチーズ	300g
グラニュー糖	120g
卵(大)	3個
卵白	2個分
薄力粉	40g
シナモン	小さじ1
レーズン	大さじ4
ラム酒	大さじ2



作り方

- ①クリームチーズ、卵は常温に出して置いておきます。オーブンを180度に温めます。
クッキングシートをケーキの型の底と側面にあわせて敷きます。
薄力粉とシナモンを合わせてふるいます。レーズンはさっと洗ってラム酒につけておきます。
- ②かぼちゃは皮をむき、正味150gを一口大に切ります。耐熱皿に水で濡らしたキッチンペーパーを敷きかぼちゃを並べ、軽くラップをかぶせ電子レンジで4~5分加熱し、裏ごします。
- ③大きめのボールに、クリームチーズを入れ泡立て器でクリーム状になるように練ります。
グラニュー糖80gを2回に分けて加え、その都度良くすり混ぜます。次に、卵を1個ずつ加えて混ぜます。ふるいにかけて薄力粉とシナモンを加え木べらで切るように混ぜ合わせます。
- ④別のボールに卵白を入れほぐし、グラニュー糖をひとつまみ入れたら角が立つくらいまで混ぜ、グラニュー糖を半分かくらい入れます。さらに泡立てししっかり泡立ったら残りのグラニュー糖を全部入れて混ぜます。
- ⑤③のボールに④の卵白(メレンゲ)を2~3回に分けて入れ、ゴムベラでさっくり混ぜ合わせます。
- ⑥⑤に汁気をきったレーズンを加えて型に流し入れ、180度のオーブンで45~50分焼きます。
しっかり焼けたら型から出し粗熱をとり冷蔵庫で冷やし適当な大きさに切り分けます。

ガス料金改定をうたった紛らわしいチラシにご注意ください。

近頃、〇〇協会など紛らわしい名前を名乗った会社による、ガス料金の価格(値下げ)交渉を請け負う案内が各ご家庭に配布されています。公益社団法人神奈川県LPガス協会ではそのようなご案内はしておりません。

チラシに書かれているフリーダイヤルに問合せるのは大変危険です。料金等LPガスに関するご不明な点等ございましたら、弊社または神奈川県LPガスお客様相談所にお問合わせください。

神奈川県LPガスお客様相談所 (受付時間: 平日8:30~17:00 土10:00~16:00)
フリーダイヤル 0120-244-566

相模原市総合防災訓練で神奈川県LPガス協会相模原支部では

LPガスに関するチラシと下記の3つのメモをつけた非常用呼子笛を配布しました。

- ①『LPガスのことで困った時の相談窓口・神奈川県LPガスお客様相談所』のご案内

電話: 0120-244-566 受付: 平日8:30~17:00 土10:00~16:00

- ②災害に強いLPガスのアピール

「地震列島」と呼ばれる日本では、災害発生時においても安定して使用可能エネルギー源を確保することが重要課題となっています。LPガスは各ご家庭に個別に供給可能な「分散型エネルギー」なので、災害発生時にガスの供給が遮断された場合も、個別調査・点検を行うことで都市ガスや系統電力と比べて相対的に早く復旧させることができます。

- ③防災メモ 災害時、助けを呼ぶ時に非常に役に立つのが「防災用ホイッスル」

ホイッスルがなくても「大声を出す」「近くにあるモノで音を出す」という方法で助けを呼ぶことはできますがそれは理論上の話で実際に地震や津波に追われている時や走りまわっている時に恐怖で大声を出すというのはかなり難しいです。そういう時に、チョットした息で遠くまで音を響かせることのできるホイッスルは有効なのです。

これからも、LPガス販売店が皆様のお役にたてるよう努力して参りますので
どうぞよろしくお願い致します。



やっぱりガスだねキャンペーン

もうすぐ終了 2019年9月30日(月)まで

☆お買い替えをご検討中のお客様は増税前に是非ご検討ください。

